

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第141回

(2023年4～6月期)

令和5年8月

桐生商工会議所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。

2. 調査時点 2023年6月1日

3. 調査期間 2023年4～6月期

4. 調査対象企業数 380企業（うち回答企業数153企業）

5. 調査対象業種
 - ①建設業（回答企業数27企業）
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

 - ②商業・サービス業（回答企業数66企業）
卸売業、小売業、飲食業、サービス業

 - ③製造業
機械金属関連業（回答企業数32企業）
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数28企業）
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-10**。前期（-19）比は+9ポイントとなった。また前年同期（-26）比では+16ポイントとなった。

業種別では、**建設業-4**（前期比+10、前年同期比+39）、**商業・サービス業-17**（前期比+17、前年同期比+23）、**機械金属製造業-11**（前期比+4、前年同期比-4）、**繊維製造業±0**（前期比-4、前年同期比-4）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-20**。前期（-30）比は+10ポイント、前年同期（-38）では+18ポイントとなった。

業種別では、**建設業-28**（前期比+15、前年同期比+24）、**商業・サービス業-22**（前期比+18、前年同期比+32）、**機械金属製造業-11**（前期比+7、前年同期比+3）、**繊維製造業-18**（前期比-6、前年同期比-6）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-7**。前期（-18）比では+11ポイント、前年同期（-18）比では+11ポイントとなった。

業種別では**建設業-13**（前期比-8、前年同期比+22）、**商業・サービス業-13**（前期比+19、前年同期比±0）、**機械金属製造業+5**（前期比+29、前年同期比+1）、**繊維製造業+5**（前期比-11、前年同期比+10）となっている。

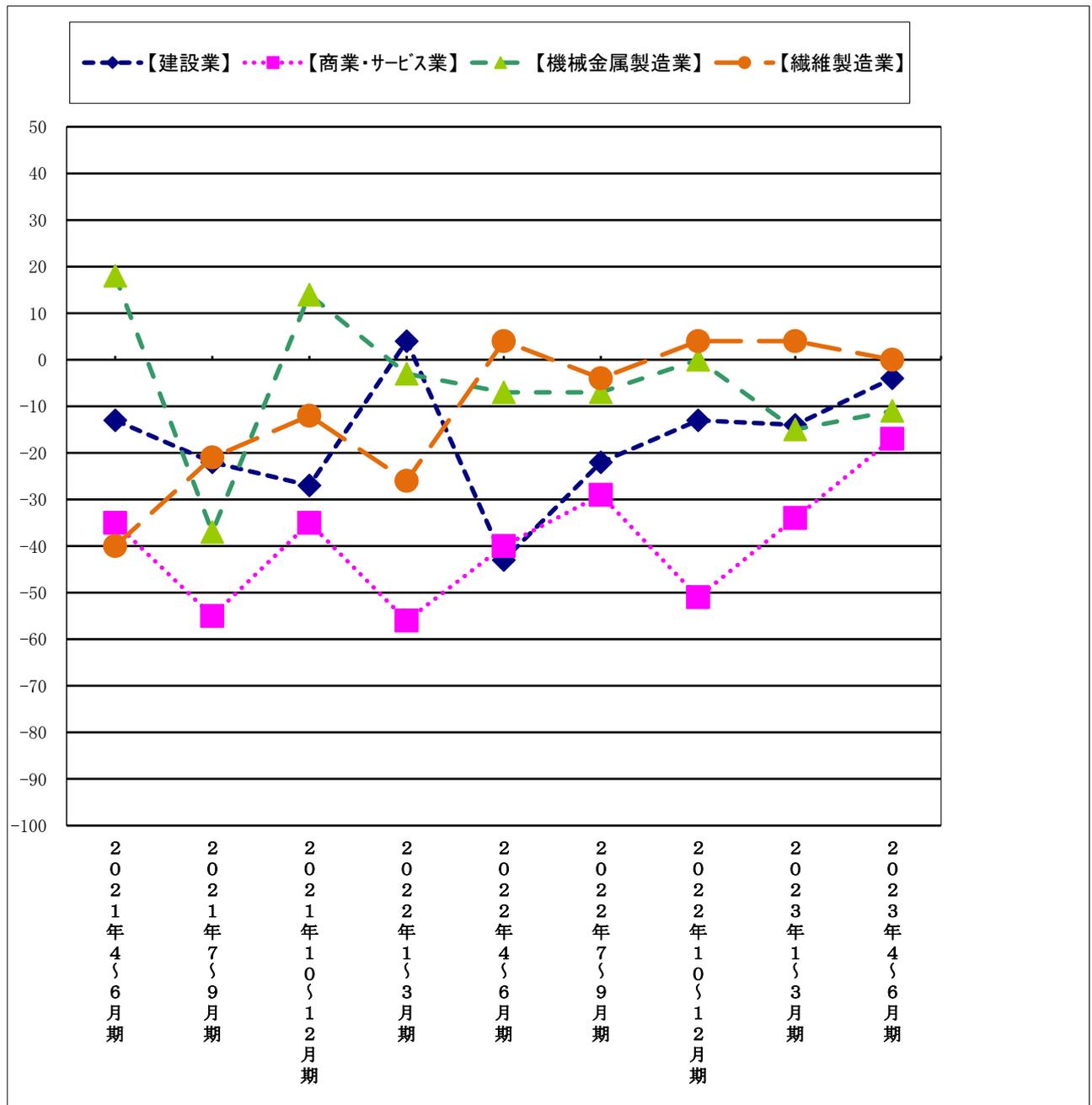
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（21.4%）「従業員の確保難」（15.7%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（19.2%）「需要の停滞」（12.2%）、**機械金属製造業**では「原材料価格の上昇」（17.5%）「原材料費・人件費以外の経費の増加」（16.3%）、**繊維製造業**では「原材料価格の上昇」（21.8%）「需要の停滞」（16.7%）が上位となっている。

業況DIの推移

| | 【建設業】 | 【商業・サービス業】 | 【機械金属製造業】 | 【繊維製造業】 |
|--------------|-------|------------|-----------|---------|
| 2021年4～6月期 | -13 | -35 | 18 | -40 |
| 2021年7～9月期 | -22 | -55 | -37 | -21 |
| 2021年10～12月期 | -27 | -35 | 14 | -12 |
| 2022年1～3月期 | 4 | -56 | -3 | -26 |
| 2022年4～6月期 | -43 | -40 | -7 | 4 |
| 2022年7～9月期 | -22 | -29 | -7 | -4 |
| 2022年10～12月期 | -13 | -51 | 0 | 4 |
| 2023年1～3月期 | -14 | -34 | -15 | 4 |
| 2023年4～6月期 | -4 | -17 | -11 | 0 |

[2021年4～6月期] から [2023年4～6月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-4**。前期比は+10、前年同期比では+39ポイントとなった。
業種別では**建築・大工業 [-13]、土木業 [±0]、管工事業[±0]、鉄骨・鉄筋業 [±0]、電気工事業[±0]、その他 [±0]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-13**。前期比-8、前年同期比では+22ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-17**。前期比は+17、前年同期比では+23ポイントとなった。
業種別では、**卸売業 [-100]、小売業 [-33]、飲食業 [+22]、サービス業では [-4]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-13**。前期比+19、前年同期比では±0ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-11**。前期比では+4、前年同期比では-4ポイントとなった。
業種別では、**鉄鋼業 [-67]、非鉄金属業 [±0]、金属製品業 [-30]、一般機械器具業 [±0]、電気機械器具業 [±0]、輸送用機械器具業 [+14]、精密機械器具業 [±0]、プラスチック製造業 [+25]、その他 [±0]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは+5**。前期比+29、前年同期比+1ポイントとなっている。

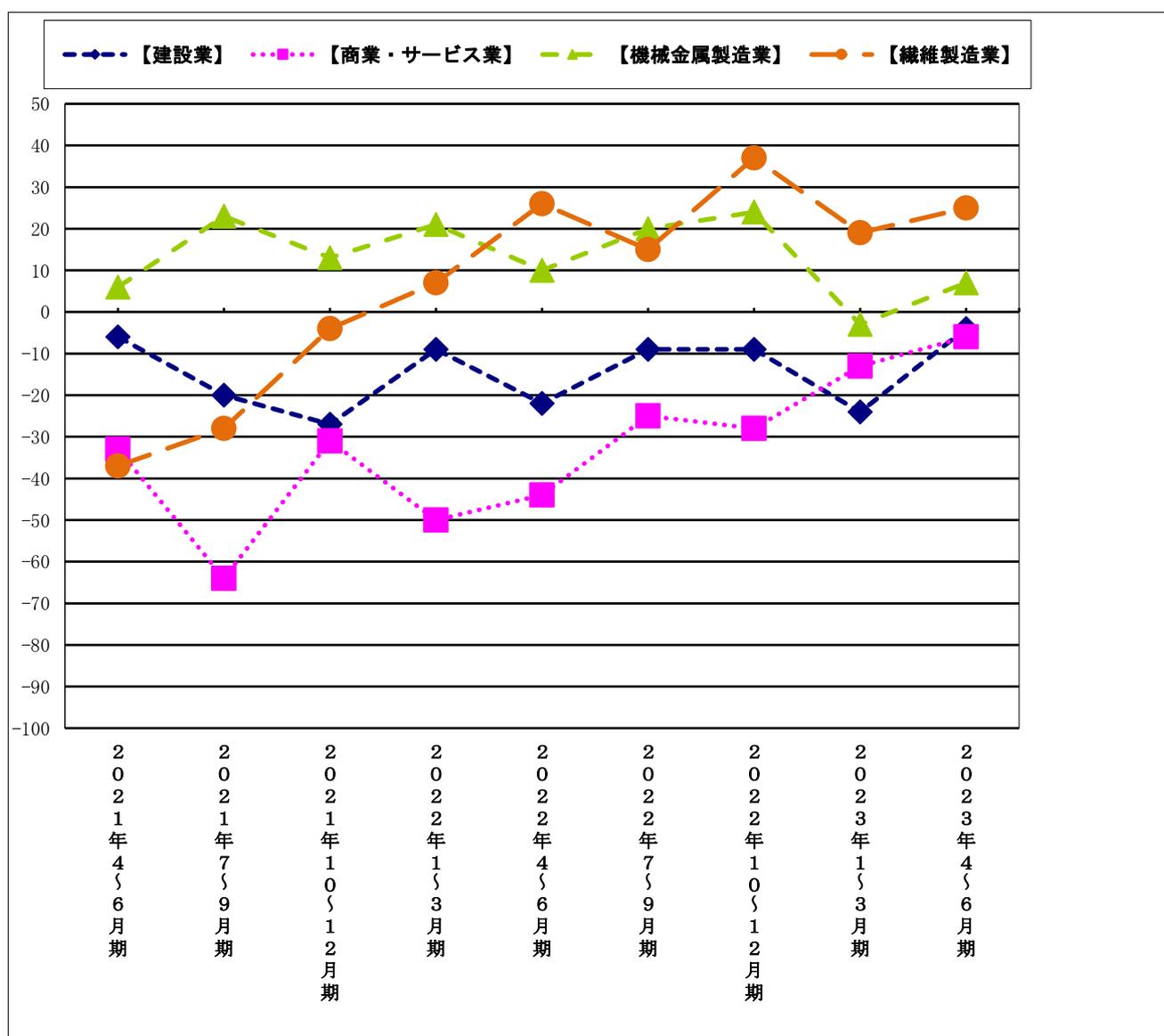
【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは±0**。前期比では-4、前年同期比では-4ポイントとなった。
業種別では、**織物業 [+9]、染色整理業 [-25]、ニット・メリヤス業 [-100]、レース業 [-50]、縫製業 [+50]、刺繍業 [+40]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは+5**。前期比-11、前年同期比では+10ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

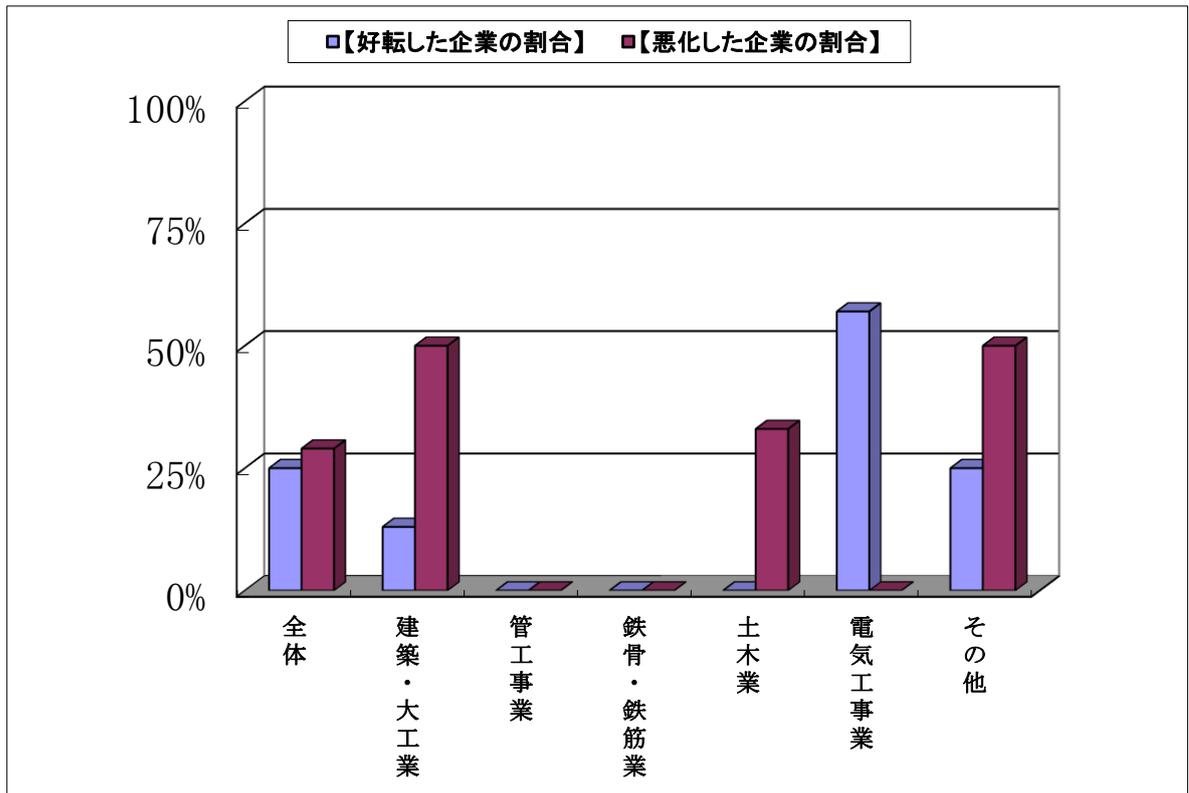
| | 【建設業】 | 【商業・サービス業】 | 【機械金属製造業】 | 【繊維製造業】 |
|--------------|-------|------------|-----------|---------|
| 2021年4～6月期 | -6 | -33 | 6 | -37 |
| 2021年7～9月期 | -20 | -64 | 23 | -28 |
| 2021年10～12月期 | -27 | -31 | 13 | -4 |
| 2022年1～3月期 | -9 | -50 | 21 | 7 |
| 2022年4～6月期 | -22 | -44 | 10 | 26 |
| 2022年7～9月期 | -9 | -25 | 20 | 15 |
| 2022年10～12月期 | -9 | -28 | 24 | 37 |
| 2023年1～3月期 | -24 | -13 | -3 | 19 |
| 2023年4～6月期 | -4 | -6 | 7 | 25 |

[2021年4～6月期] から [2023年4～6月期]

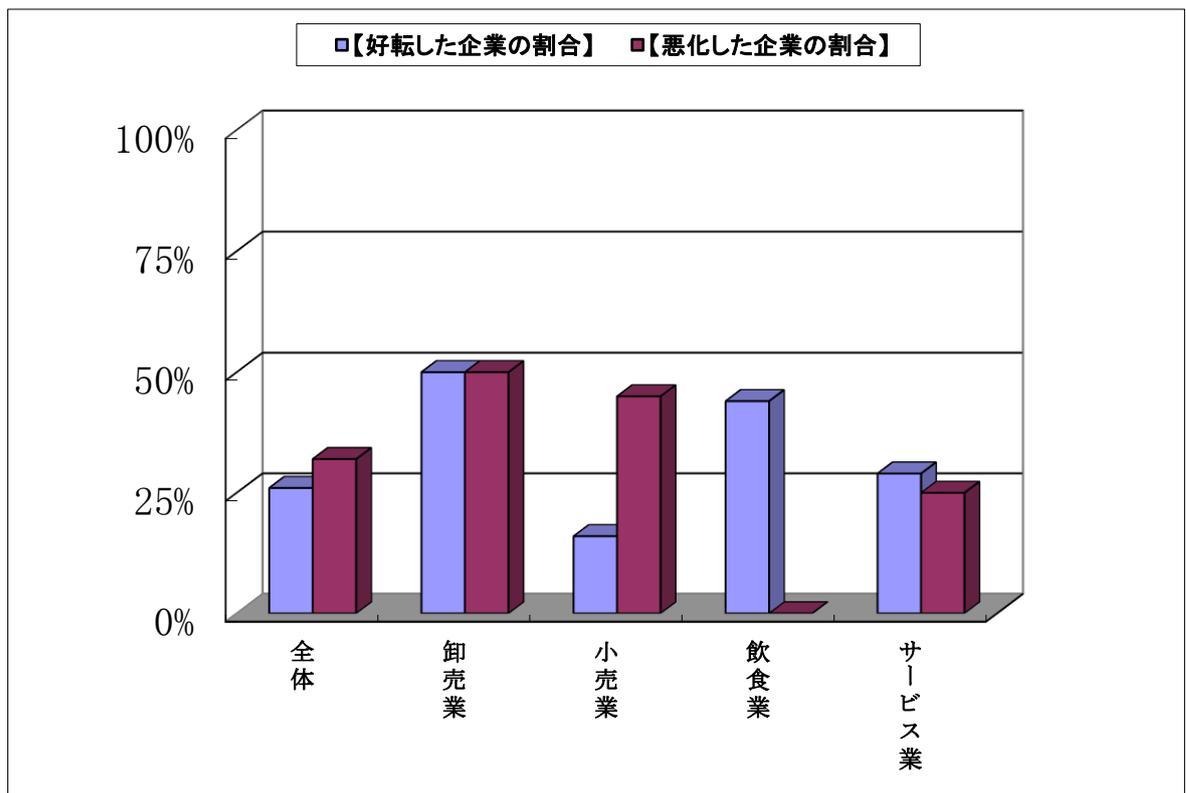


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

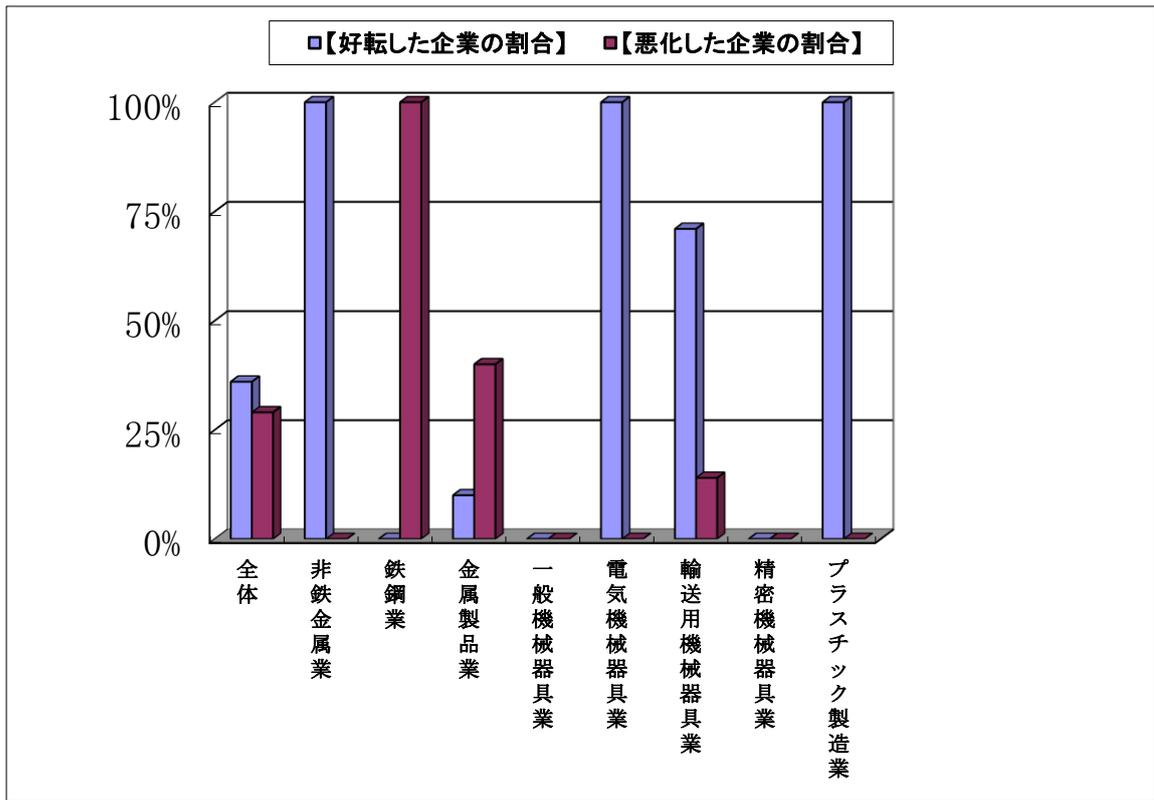
【建設業】



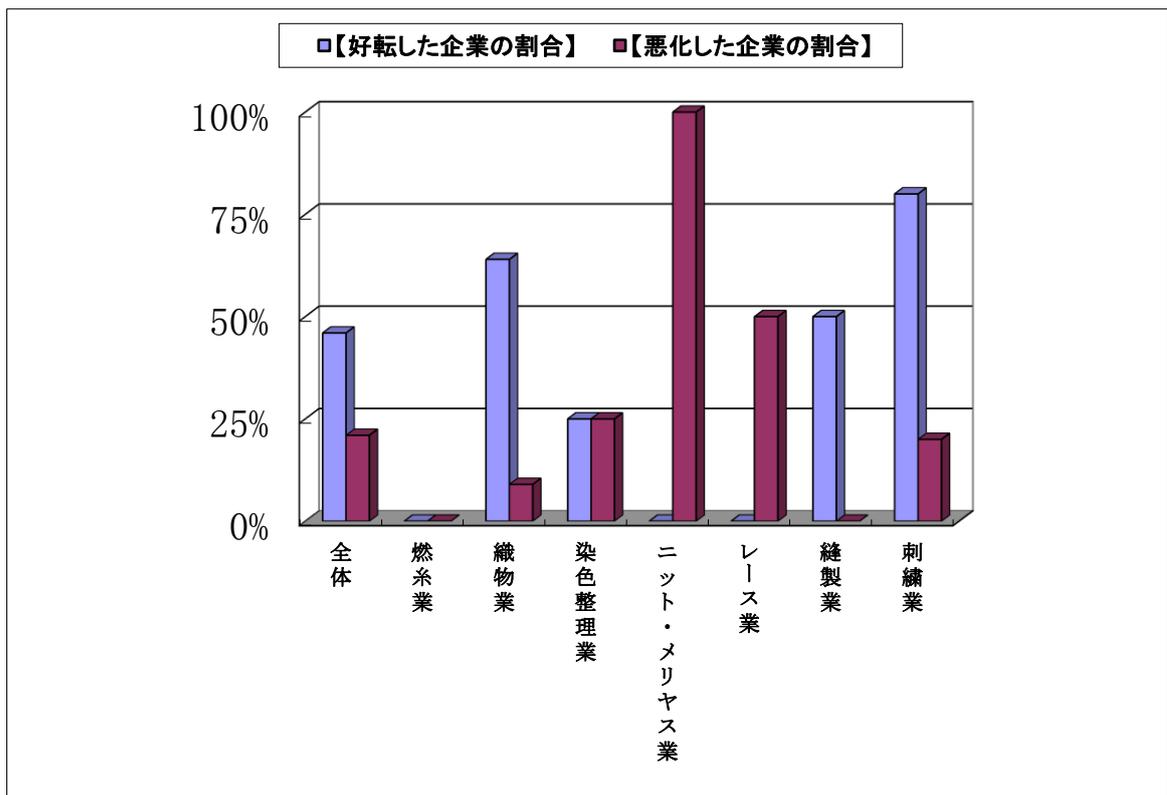
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



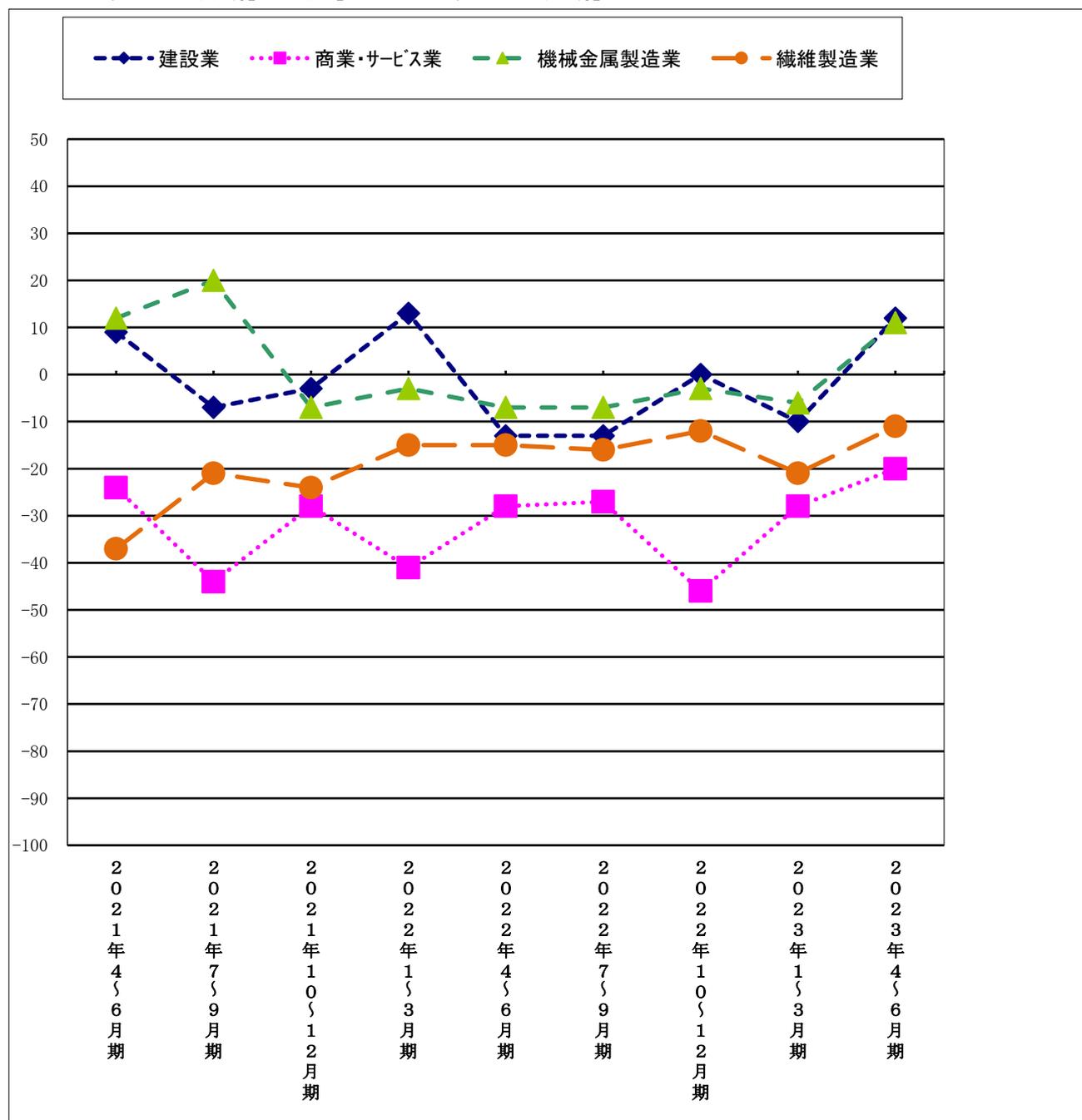
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

| | 建設業 | 商業・サービス業 | 機械金属製造業 | 繊維製造業 |
|--------------|-----|----------|---------|-------|
| 2021年4～6月期 | 9 | -24 | 12 | -37 |
| 2021年7～9月期 | -7 | -44 | 20 | -21 |
| 2021年10～12月期 | -3 | -28 | -7 | -24 |
| 2022年1～3月期 | 13 | -41 | -3 | -15 |
| 2022年4～6月期 | -13 | -28 | -7 | -15 |
| 2022年7～9月期 | -13 | -27 | -7 | -16 |
| 2022年10～12月期 | 0 | -46 | -3 | -12 |
| 2023年1～3月期 | -10 | -28 | -6 | -21 |
| 2023年4～6月期 | 12 | -20 | 11 | -11 |

[2021年4～6月期] から [2023年4～6月期]



今期直面している経営上の問題点

| | 1位(%) | 2位(%) | 3位(%) | 4位(%) | 5位(%) |
|----------|--------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------|----------------|
| 建設業 | 材料価格の上昇 21.4 | 従業員の確保難 15.7 | 熟練技術者の確保難 10.0 | 人件費の増加 10.0 | 下請単価の上昇 8.6 |
| 前期 | 1位 23.2 | 4位 8.9 | 4位 8.9 | 10位 3.6 | 7位 5.4 |
| 前年同期 | 1位 26.3 | 3位 14.0 | 4位 10.5 | 9位 1.8 | 13位 0.0 |
| 商業・サービス業 | 材料等仕入単価の上昇 19.2 | 需要の停滞 12.2 | 消費者ニーズの変化への対応 12.2 | 人件費以外の経費の増加 9.3 | 従業員の確保難 8.1 |
| 前期 | 1位 19.7 | 2位 12.7 | 3位 12.7 | 6位 7.0 | 5位 9.9 |
| 前年同期 | 1位 18.3 | 2位 15.0 | 3位 14.6 | 13位 2.2 | 4位 6.7 |
| 機械金属製造業 | 原材料価格の上昇 17.5 | 原材料費・人件費以外の経費の増加 16.3 | 従業員の確保難 13.8 | 製品単価の低下・上昇難 12.5 | 需要の停滞 11.3 |
| 前期 | 1位 19.8 | 4位 11.0 | 3位 13.2 | 2位 14.3 | 5位 9.9 |
| 前年同期 | 1位 20.5 | 4位 10.2 | 3位 11.4 | 2位 15.9 | 4位 10.2 |
| 繊維工業製造業 | 原材料価格の上昇 21.8 | 需要の停滞 16.7 | 原材料費・人件費以外の経費の増加 11.5 | 製品単価の低下・上昇難 11.5 | 従業員の確保難 9.0 |
| 前期 | 1位 29.0 | 2位 14.5 | 3位 13.0 | 4位 8.7 | 5位 7.2 |
| 前年同期 | 1位 27.0 | 1位 17.6 | 5位 6.8 | 3位 10.8 | 9位 4.1 |

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- ・景気は好転しているものの、従業員の離職もあり売上を確保するのが難しい状況。
- ・給与等のベースアップが例年と比べて大きい。材料の価格上昇による利益減少。
- ・桐生市及びみどり市内等の仕事が少なく、県内の他市町村そして県外工事が多く、そのためガソリン代等交通費の増加が直面している。
- ・取引先（不動産買元先）の金融機関融資がきつくなっているのを感じる。

〔商業・サービス業〕

- ・物価上昇に伴う経費の増加。
- ・収入は変わらずにして、従業員給与を上昇せざる得ない現状が続いている。
- ・コスト上昇の一方で競争の激化もあり、価格転嫁が難しい局面にきている。
- ・仕入、水道光熱費等上昇により利益が出しづらい状況。新しいウィズコロナの戦略が不可欠。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類になったが、完全に消えた訳ではないので東京に仕入にいくか迷っている。世代が変化しているので、現在のニーズに対応するのが難しい面がある。
- ・人が集まる町にしてもらいたい。会社を桐生市に呼び込んでほしい。

〔機械金属関連業〕

- ・受注計画（売上見込み）に対し、実績（受注量）の減産あり。
- ・材料や燃料費等の価格が高止まりしている。販売価格への転嫁が課題。
- ・自動車業界ではまだ半導体不足で、この先が不明。
- ・電気代上昇が大きな負担。

〔繊維工業〕

- ・小人数なので忙しさにバラつきがあり不安定。
- ・国内需要の低下と国内生産から海外生産へシフト。（コロナでの国内生産増から）